

## 修了前の集大成、さらなる飛躍へ



### 修士論文発表会

平成29年1月24日(火)、大雪警報が発令され、近年稀にみる積雪に見舞われる中、講義室では、大学院生による「修士論文発表会」が行われ、会場は熱気に包まれていた。

この発表会は、大学院医学系研究科の生命科学専攻と機能再生医科学専攻の学生が、4年間の大学生活で培った知識を大学院でより深く追求し、その研究成果を教員や学生の前で発表する、修了前の集大成と言える一大行事だ。

当日は、演者が作成した資料により10分間研究の成果を発表し、その後、5分間の質疑応答がある。

研究の背景から結論に至るまで、真剣な眼差しで発表する大学院生からは、こだわり続けた研究課題への取り組み、生命の追求、その背景に寄せる熱い思いに溢れていた。

研究は、多くの仮説から数えきれない程の実験を繰り返す。ようやく導き出された結果は、さらなる仮説を生み、そして研究へと続く。

身近に起こる病気から難病に至るまで、その原因の解明には、研究者たちのあくなき探究心と絶え間ない努力が根底にあり、現在でも新たな治療法の発見や、創薬のために、日々、研究者が奮闘している。

質疑応答では、演者が導き出した結論や仮説に対して、教員や学生から疑問点や意見、提案等が活発に出され、双方の理解が深まる建設的な場となっていた。



修了後は、大学及び研究機関、製薬、食品等幅広い業種で、研究職のほか、技術職、開発職、企画職、営業職などに就く。また、近年では出版などのメディア関係、胚培養士、さらに遺伝子医療・再生医療のコーディネーターやカウンセラーなど、社会のニーズに呼応し、生命科学の知識が必要とされる様々な職業へと進路も広がっている。

多くの知識を身につけ、経験を重ねた修了生たちが、今後、社会へ大きく貢献していくことを期待したい。

## 大山の魅力

### — Spring —

春の大山では、ブナをはじめとする木々が若葉を茂らせ、その下では様々な花が芽吹き始める。その息吹に1年の中で最も自然の力強さを感じる。

4月には、グリーンシーズンを前に、各種団体や一般参加者が清掃作業を行う“大山春の一斉清掃”が実施される。

毎年新緑の爽やかさを感じることができるのも、このような活動があるからだ。また、隠れた桜名所とも言われる「豊の桜並木」は、大山から日本海に向け走る道の両側200mに桜が咲き誇る。その他にも各所絶景スポットが点在しており、登山・散策・ドライブなどで美しい景色を楽しむことができる。

1年を通して様々な姿を見せてくれる大山。自然の大切さ・尊さを再確認する良い機会を与えてくれているのではないだろうか。



# 医学部での研究！

# 遠隔モニタリングで在宅療養支援

～世界初のシステム開発～

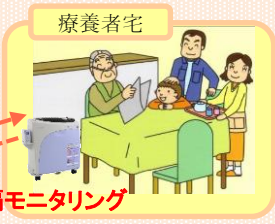


保健学科病態検査学講座  
ふりおか なおと  
教授 齋岡 直人

病気で酸素吸入が必要な患者は、自宅で酸素濃縮器を用いて酸素吸入をする「在宅酸素療法」を行っている。症状を改善するためには、自宅で長時間酸素吸入をする必要があるが、従来の酸素濃縮器は、患者が適切に使用しているか、また、吸入している酸素流量で足りているのか、医師が詳細に把握することはできなかった。

そこで、齋岡教授は、企業と連携し、ICT(情報通信技術)利用の酸素濃縮器を研究・開発。患者は専用の測定器を指に挟むだけで、測定時刻、酸素飽和度、脈拍数がサーバーに自動記録され、蓄積した情報を医療スタッフがいつでも確認できる、世界で初めての新しいシステムを構築した。これにより、患者が記録をとる煩わしさがなくなり、より適切な酸素療法を行うことができるようになった。

このシステムは、現在全国の医療従事者に利用されている。



療養者宅  
遠隔モニタリング

## 学生の1日

座右の銘

“素直になる！”

### 藤田さんのライフスタイル

7:30 起床

朝食は必ずとります！

8:30 登校

8:40～12:00(1・2限)  
「臨床血液学」

白血病と悪性リンパ腫を学習。最新薬の知識も入れながら病態や症状を理解していく。

12:00 ランチ

学生食堂を利用。家であまり自炊をしないので、野菜が摂れる貴重な場所。

13:00(3限)「臨床呼吸器学」

肺癌の病期に基づいた治療方針を学ぶ。

14:50(4限)「臨床循環器学」

不整脈について学習。心電図を見て診断し、緊急かどうかを見極め、治療を進めていく必要があることを学ぶ。

17:30～20:00 部活(陸上)

近くの競技場・公園を利用。  
西医体成績：3000mSC優勝(2017)  
5000m準優勝(〃)

21:30～23:30 復習

夕食後は、講義の復習。講義内容を覚えているうちにノートにまとめる。

0:30 就寝

### Profile



医学科3年  
藤田 佳委  
ふじた かい  
(鳥根県出身)



### \*後輩へ一言\*

医学部では、勉強ばかりでなく、部活やアルバイト、休日は旅行など、日々充実した学生生活を送っています。魅力あるこの地で、一緒に素敵なキャンパスライフを過ごしましょう！

## 新たな地で羽ばたく

～Graduation ceremony～

平成29年3月3日(金)、晴天に恵まれたこの日、米子キャンパスにて医学部卒業式が挙行された。

艶やかな着物を纏った学生たちが、苦楽を共にした仲間たちとの別れを惜しみつつ、4月にはそれぞれ新たな環境へと旅立つ。今後の益々の活躍を期待したい。



3月のおすすめ  
メニュー

## 生協食堂

### 梅しそ香る チキンカツ

サクサクの衣とジューシーな鶏肉に梅しその風味が加わり、さらに食欲アップ！



さっぱりかつ、満腹感も得られる人気の一品

カロリー：399.1kcal  
タンパク質：10.8g  
脂質：30.3g  
炭水化物：21.4g  
ナトリウム：642.3mg

### ホッと一息

## “ほっとラウンジ”

病院の外来棟玄関を入ると、「院内図書室」「情報検索コーナー」「コーヒーショップ」を併設した“ほっとラウンジ”がある。



ここでは、誰でも病気や治療等について調べたり、お茶を飲みながらリラックスして待ち時間を過ごしたりするスペースとして利用されている。職員や学生にとっても、開放的な窓の外を眺めながら、ほっと一息つける癒しのスペースだ。



### …編集後記…

梅の花が咲き誇る頃、春風を感じるとワクワクしませんか。

“これをしてみたいなあ”と思ったときがチャンス！

ちっちゃなことでも挑戦してみよう。あなたの何かが変わるかも♪

発行／鳥取大学 医学部(総務課広報係N)  
〒683-8503 鳥取県米子市西町86  
TEL：0859-38-7037  
E-Mail:me-kouhou@adm.tottori-u.ac.jp